

平成 24 年度沖縄県スポーツツーリズム戦略推進事業  
(スポーツアイランド受入支援事業)

アマチュアスポーツの合宿の招聘による実証事業  
企画案 (女子バスケットボール)

2012 年 12 月 3 日

**dentsu**

株式会社電通沖縄／株式会社電通

沖縄県スポーツツーリズム戦略推進事業  
(スポーツアイランド受入支援事業)

(1/2)

タイトル	International Women's Youth Basketball Spring Camp In Okinawa 女子ユース・バスケットボール沖縄国際スプリングキャンプ		
企画意図	複数の国内トップレベルの女子バスケットボール大学チーム、及び同年代の海外（東アジア圏）招待チームが、シーズン入りを前に温暖な沖縄地域に集い、テストマッチを中心にしたトレーニングキャンプを実施することで、次世代を担うユース層の競技力の底上げと国際交流を図るとともに、「スポーツアイランド沖縄」を国内外に向けてプロモーションする契機とする。		
沖縄県にとっての期待効果	<p>トップレベルの競技力（＝他チームに対する影響力）を有する強豪チームが集う本事業を継続することで、徐々に、全国から追従するチームが増加すると見込まれる（すでに、招聘チームの他に2～3チームから一緒に自費参加したいとの意向が伝えられている）。</p> <p>トレーニング施設（学校施設含む）の確保や適切なツアー商品造成などの受入体制が整えば、大学のみならず、将来的には国内外のプロや社会人、高校などのチームが各々の合同キャンプに集う「バスケットボールキャンプの集積地」として沖縄県が発展する可能性もある。</p> <p>沖縄県は、伝統的にバスケットボール人気が高い地域である。bjリーグの琉球ゴールデンキングスは、リーグ有数の観客動員数を誇るとともに、2011-12年シーズンで2度目のリーグ優勝を果たすなど、沖縄県スポーツの新たなシンボリック的存在となっている。こうした土壌を活かしつつ、本事業を実施することで、プロ野球春季キャンプに続く「第2のスポーツ合宿のメッカづくり」を推進することができる。</p>		
<b>【 企 画 概 要 】</b>			
種目	バスケットボール (女子)	招聘チーム数 (人数)	20名×5チーム (100名)
実施予定時期	平成25年3月	実施期間 (日数)	5泊6日
参加予定チーム	大学（招聘）：3チーム（早稲田、拓殖、筑波） 海外（招聘）：2チーム（台湾、韓国＜調整中＞） 沖縄（自費）：1チーム <span style="float: right;">合計6チーム</span> （参考）2012インカレ成績；早稲田（準優勝）、拓殖（3位）、筑波（4位）		
会場条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のバスケットボールコート3面を有する体育館（期間中コートを占有＜9:00～20:00＞）</li> <li>・ 宿泊施設からの移動時間が少ないこと</li> </ul>		
協力団体	沖縄県バスケットボール協会		
実施担当者	株式会社電通スポーツ局スポーツ3部 プロジェクトマネージャー 花内誠		

沖縄県スポーツツーリズム戦略推進事業  
(スポーツアイランド受入支援事業)

(2/2)

【 実施概要 】	
招聘チームへのアプローチ方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>各チームの監督・コーチに個別アプローチするとともに、全日本大学バスケットボール連盟（以下、学連）にチーム間の調整、コーディネートを依頼する。</li> </ul>
会場確保方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県バスケットボール協会の協力により、地元自治体、指定管理者に働きかけ、会場を確保する。 (候補例) 沖縄市体育館、浦添市民体育館</li> </ul>
地元との交流方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>県バスケットボール協会等の協力を得て、キャンプ中に以下の方法で地元バスケットボール関係者との交流を行う（詳細は、後日決定）。 1) 招聘チームの指導者・選手による地元選手向けクリニック教室 2) 地元ミニバス、中・高校部活動の指導者向け講習会 3) 審判講習会（招聘チームのテストマッチを活用した実務指導）</li> </ul>
宿泊・移動条件対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームごとに滞在スケジュールや練習時間が異なる可能性があり、宿泊施設、期間中の移動手段の確保策は、基本的には各チームに委ねる（チームや学連指定の旅行エージェント等が手配）。</li> </ul>
参加者満足度等の調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者に対してアンケート調査（A4・1枚程度）を実施</li> <li>チームリーダーもしくはマネージャーなどへのヒアリング（調査項目）</li> <li>沖縄の印象、好意度、春季キャンプ地としての適性</li> <li>練習・宿泊環境の評価、改善ポイントの抽出</li> <li>次年度以降の継続、合宿で再訪問意向の有無、およびその理由</li> </ul>
その他、実施にあたり想定される課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元との交流事業をはじめ、運営全般について、学連、招聘チーム関係者、県バスケットボール協会間で事前協議を行い、実施案を詰める必要がある。</li> </ul>
その他特記事項（県依頼事項等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、競技団体、チームの意向、沖縄県側の施設状況等により、内容が一部変更となる可能性がある。</li> <li>プロ野球春季キャンプに続く「第2のスポーツキャンプのメッカ」づくりを視野に、次年度以降の継続方法について、戦略的な対応を図っていく必要がある。</li> </ul>